

# 根来山げんきの森倶楽部

令和8年3月作業日誌

活動日：令和8年3月15日(日)9時30分～

天気：曇り

参加者：倶楽部員37人

## 里山整備 神浪 佐知子

この日は午前中は植樹祭でしたので、チーム別の作業は午後からとなりました。

里山整備は7人で、チェーンソーでの伐倒と玉切り、鉋や鋸での枝払い、林内作業車の操作に分かれて作業を行います。

林内作業車は、重い木材を引き上げたり積み込むためのバランスが重要で、角度や距離を微妙に図って操作するのが難しそうでした。時にはバランスが崩れそうになるのを、3人がかりで運搬台の丸太に体重をかけて防ぐ場面もありました。日々増える体重もここでは役に立ちました…。

最後にはワイヤーが切れてしまいましたが、ヒノキ4本を無事倒しました。



## 炭出し 岡 尚美

柔らかな日差しのもと、春を感じながら炭出しの作業をしました。今回炭焼きの作業体験をしたいと親子で参加してくれた方もいて、男女合わせて10名で作業を始めました。毎回前日にメンバーの方が来て、すぐに作業に取り掛かれるように、釜から炭を出す扉になる部分を開けておいてくれます。また取り出すまでに4、5日かけて炭を焼く作業もあり出来上がるまでに沢山の手が要ります。

取り出した炭は、拳ほどの大きさにカットして10kgにして袋に詰めます。

今回は萩原珈琲さんと一般向けの方で、合計230kgの炭が出来ました。今回出来た炭も良い感じに仕上がったと思います。

午後は、釜に次回の炭材を入れる作業をしました。重い材を運びますが初めて参加してくれた方も黙々と作業を頑張ってくれていました。次回もどんな炭が出来るか楽しみです。皆さんお疲れ様でした。



## うるし谷整備 櫻井 敏夫

本日は総勢6名の人員で3班で作業を行いました。

1班は4名で“こぶし川”の護岸作業で、猪による護岸破壊防御のために竹で柵を設置しました。これで猪による破壊が無くなればと願うばかりです。

また、一部の階段が壊れていましたので補修して安全に通行し易くなりました。

2班は1名で竹の間引き作業をしてスッキリしました。

3班も1名で花壇の整備作業をして綺麗になりました。

3月中旬になり、うるし谷では日の当たる所は暖かく、“ミツマタ”や“ナンテン”等は綺麗な花や実で春を思わせる陽気でした。

## うるし谷整備 山口 倅

今日は植樹には行かずに午前中からうるし谷へ6人で行きました。

うるし谷はイノシシの楽園になり、溝川はいつもメチャクチャ荒らされていますので、試験的に川の横に杭を打ち、その低いところに竹を横に這って観察していますが効果はあるように思えるので、今日は川の横全面に柵のように竹棒を括り付けました。

これで溝川がイノシシに荒らされないことを願っております。

午後は3人で階段の補修を一か所しました。また、今まで切った木や倒木の整理をして今日は早めに終了しました。

## 味噌汁作り 萬賀 伊津子

年度最後のお味噌汁を4名でつくりました。材料は大根、人参、牛蒡、椎茸、えのき、ほねく、油揚げ、こんにゃく、ねぎ、豚肉、白菜でした。白菜は1/8くらいが150円もしてびっくりでした！小芋の寄付があり味もボリュームもアップしました。

寒かったので暖まるのによかったです。

今年度もいろんな食材を寄付していただき、同じ鍋の味噌汁を食べて心一つで頑張れたような気がします。



## ヒノキのチップ作り

赤坂 進

植樹祭に続き、午後は炭焼き小屋のある広場に積んでいたヒノキの枝をチップにしました。

針葉樹のチップは、2～3年は腐らず、歩道に敷いておけば足に優しく、雑草が生えるのを抑える効果もあることがわかっていて、商品になるかもしれないとサンプルを作ってみることにしました。

自走式チップパー（バッテリーの充電済み）を引き出し、ブルーシートの上にチップ吹き出させて、サンプルは園芸用袋3杯ほど作れました。

今回は順調な運転で終われるかと思いましたが、最後に残っていた太い太い枝2本を入れた途端、エンジンから煙が吹き出し、枝を碎屑する円盤が停止してしまいました。円盤を廻す軸に木の皮や繊維が巻き付いたのを外しなんとか回復することができ、作業終了にしました。

チップパー運転に関するこれまでの教訓。1)自走エンジンとチップパーのエンジンは違って、チップパーの運転は特殊な操作が必要である。2)バッテリーの充電は、車から繋ごうとせず、本体から外して行うこと。

3)チップにする枝はある程度乾燥したものを使い、太いものは避ける。

後日、サンプルを持って営業してくれた結果、売れることがわかりました。



## 尾根筋整備

林 哉也



1月から始まった尾根筋の道の整備。

今日まで管理棟～ムクノキ原、ムクノキ原尾根、東尾根、スカイライン、スカイライン広場、ススキ尾根、西尾根の各コースを終え、遂に最後となった根来寺不動堂～西展望広場までのコースをSさんと2人で整備しました。山道を放置すれば年々道幅は狭くなっていきます。

刈払い機で道にはみ出した枝、また、はみ出しそうな枝や木を切り、それらを取り除いて広くしていくのが主な作業内容です。

全コースの中で特に、N地点の人が踏み入れる事が困難な位にびっしりと生え込んだネザサと、スカイライン広場に生え広がったアカメガシワ、カラスザンショ、クサギ等の処理にはかなりの労力を費やしました。

スカイライン広場は、6名が作業に携わってようやく終わる事が出来ました。

西展望広場からの帰り道、充実した達成感に浸りながらも、こんな短期間に全ての尾根筋を整備する事が出来たのは、幾度も作業に携わって頂いた皆さんのお陰である事を深く思いました。

皆さん、大変お疲れさまでした。

## 植樹祭 岡田 和久

今年の植樹はバリアフリー終点付近の南谷(この呼び名はげんきの森が始まったころのもので、まだ生きているはずですが、今はほとんどの人が呼ばなくなってしまった名称です)で巨大に育ったクスノキ、ヒノキ、ナナミノキなどの常緑樹を処理した跡地で行いました。この場所の常緑樹を処理したことでその下で大きく育って鮮やかな実を付けるようになったタマミズキとイイギリの実がよく見えるようになりました。

植栽したのはヤマザクラ 10 本、アカシデ 5 本、ヤマボウシ 1 本、イイギリ 5 本、イロハモミジ 10 本、オニグルミ 5 本の 6 種 36 本。

一般参加は 3 人の親子連れのみでしたが、炭焼きとうるし谷作業に向かったメンバー以外の倶楽部員が参加して午前中で植えてしまいました。

今回植樹したのは落葉樹ばかりなので、鮮やかに実を付け始めたタマミズキやイイギリの景観をさえぎることはないでしょう。イロハモミジは大きく育った木の下に植えたので美しく枝を広げて、秋にはアカシデとともに鮮やかな紅葉を楽しませてくれるはずです。ヤマザクラやヤマボウシの花も楽しみです。数年間は草刈りも必要です。みなさん、ご協力ください。



### 事務局から

#### 「プライスレス」

私たちの活動はほぼお金をいただかない労働です。一般的にはボランティアと呼ばれています。

労働の対価としてお金をいただく場合、私たちはコスパを気にします。働きの大変さをいただく賃金の額と比較していい仕事だとかよくない仕事だとかいう判断になるのです。

でも、げんきの森の活動はそうしたお金の対価はほぼありません。作業であれば労働の気持ちよさと整備された景観や施設を眺める満足感がその対価でしょうか。観察会や体験会の場合は参加者の笑顔が対価ということになります。普段の地道な活動に公園利用者のみなさんから頂く感謝の言葉もこの対価になるでしょう。

私たちが気づかないところでいろいろな森の生き物たちが活発に活動しているわけで、彼らの活動も私たちの活動に対する対価と考えていいのかも知れません。これらはすべてプライスレスの対価。

そして、このプライスレスの対価はバリバリ作業する人ものんびり作業する人も積極的に取り組む人も控えめに取り組む人もみんな等しく受けることができます。だから、みんな仲良くこの森で活動が続けることができるのです。

ヤマザクラが咲きそろい、新緑が萌え出る季節を「山笑う」と表現します。そんな森の中で私たちも笑顔で過ごすことができるのが根来山げんきの森。今年度もたくさんのプライスレスの対価をいただきながら楽しくやってみましょう。

岡田 和久

